

# 助産師、増す存在感

最前線でお産を支える「助産師」。医師不足で出産を取り巻く環境の変化を背景に、その役割が見直され、存在感を増している。

## 働く



## 山梨大医学部付属病院 「出産」の変化を支え

「ワク、グワン」。大き

なおなかにあたる機械を造り

て聞こえてきた胎内の心臓の

音。助産師が超音波(エコ)

ーで胎児の動きを確認して

いたときの対応などを確認。

医師が「不妊」の建議は、終

始やかな雰囲気に包まれて

いた。

赤ん坊が産声を上げた。

緊急時にはすぐに産婦人科

の医師が駆けつける万全の体

制。助産師にとっては仕事

のやりがいや自信にもつなが

っているという。花輪看護師

長は「目標を共有しながら、

一緒に成し遂げる達成感があ

る。医師との信頼関係を築き

ながら、経験や知識を重ねて

判断能力を養っていく」とい



## 医師の代わり

院内助産では、リスクが低

い出産を対象で、医師の代わ

りに助産師がお産に立ち会

う。新設された広さ約14平方

メートルの院内助産室「よつ葉ルーム」は、BGMやアロマ、間

接照明などで空間を演出し、

陣痛からお産まで対応できる

ベッドの横には、より自由な

姿勢でお産が出来るようマッ

トやクッションも用意されて

いる。

「よつ葉ルーム」という名

前は、「赤ちゃん」「お母さ

ん」「家族」「助産師」の四

つのハートをイメージしてス

タッフたちが付けたとい

う。「妊娠さんの希望を聞きな

がら、出産のだけ心地よい環

境を自指しています」と花輪

看護師長(46)。開始か

ら約半年で、これまで14人の

赤ん坊が産声を上げた。

緊急時にはすぐに産婦人科

の医師が駆けつける万全の体

制。助産師にとっては仕事

のやりがいや自信にもつなが

っているという。花輪看護師

長は「目標を共有しながら、

一緒に成し遂げる達成感があ

る。医師との信頼関係を築き

ながら、経験や知識を重ねて

判断能力を養っていく」とい

う。助産外来で健診を受ける妊

婦。モニターに映る胎児の姿

に笑顔があふれた。産科病棟

に昨年11月開設された院内助

産室「よつ葉ルーム」。中央市下河東の山梨大学

変わつてある。そんな中、助産師への期待はより大きく、と話す。

連携が課題に

山梨大学医学部産婦人科学教室の平田修司教授は「本

助産師の数は十分といえず、現

状では受け入れ人数は限られ

ている。平田教授は言う。

他の病院にも広がり、分娩

数が増えるには、まずは安

心で、正常な分娩でも医

師が立ち会ってきた。助産外

来や院内助産は、助産師がよ

り主体的にかかることで

本来の役割を果たし、不足す

る医師はリスクの高い出産に

集中できるという利点がある

。同病院では、20人の助産師

のうち、5年以上の経験を積

んだ8人が院内助産を担当

。医療の発達によって安全性が

高まった半面、助産師の経験

や医師との連携などが課題と

い。そこで同病院では、助

産外来や院内助産について学

ぶ独自の養成講座を開設。院

技、試験を実施し、これまで45人が認定された。

将来的には病棟をつくるこ

とを目指しているものの、助

産師の数は十分といえず、現

状では受け入れ人数は限られ

ている。平田教授は言う。

他の病院にも広がり、分娩

数が増えるには、まずは安

心で、正常な分娩でも医

師が立ち会ってきた。助産外

来や院内助産は、助産師がよ

り主体的にかかることで

本来の役割を果たし、不足す

る医師はリスクの高い出産に

集中できるという利点があ

る。

同病院では、20人の助産師

のうち、5年以上の経験を積

んだ8人が院内助産を担当

。医療の発達によって安全性が

高まった半面、助産師の経験

や医師との連携などが課題と

い。そこで同病院では、助

産外来や院内助産について学

ぶ独自の養成講座を開設。院

技、試験を実施し、これまで

45人が認定された。

将来的には病棟をつくるこ

とを目指しているものの、助

産師の数は十分といえず、現

状では受け入れ人数は限られ

ている。平田教授は言う。

他の病院にも広がり、分娩

数が増えるには、まずは安

心で、正常な分娩でも医

師が立ち会ってきた。助産外

来や院内助産は、助産師がよ

り主体的にかかることで

本来の役割を果たし、不足す

る医師はリスクの高い出産に

集中できるという利点があ

る。

同病院では、20人の助産師

のうち、5年以上の経験を積

んだ8人が院内助産を担当

。医療の発達によって安全性が

高まった半面、助産師の経験

や医師との連携などが課題と

い。そこで同病院では、助

産外来や院内助産について学

ぶ独自の養成講座を開設。院